

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

団体名	NPO 法人つるがしま里山サポートクラブ
活動タイトル	鶴ヶ島市「市民の森」の整備活動および太田ヶ谷の森を中心とした植樹活動
活動地域	鶴ヶ島市内の市民の森、太田ヶ谷の森



4月23日 五味ヶ谷市民の森タケノコ掘り

【活動の目的・目標】

市内にある市民の森は市民生活の身近にある里山・樹林地として貴重である。特に子ども達の自然体験、学習の場として後世に残していくべきものであり、保全・整備活動を継続していく。また、2021年に開設した太田ヶ谷の森はこれから森を育てる実験場でもあり試行錯誤を積み重ねていきたい。



6月4日 高倉市民の森里山体験会

【今回の活動で苦労した/工夫したこと】

市内の企業より寄贈された苗木を太田ヶ谷の森内に植樹したが、今年の夏は熱中症の危険があり余り進展できなかった。秋以降に実施する予定である。また、小彼岸桜の新芽を採取し会員の自宅で育苗しているが、猛暑日が続く枯らす者が多かった。枯らさない工夫を検討したい。



7月3日 藤小学校3年生自然体験学習会

【活動の内容・成果】

開催回数：活動回数 29 回（月平均 4.8 回）
参加人数：会員参加延数 270 人（平均 9.3 人）
会員以外のイベント等参加者数 944 人
達成率： ほぼ達成

市民の森の整備活動により、市民を対象としたイベントを開催することができ、多くの市民の参加を得た。（タケノコ掘りイベントは好評のため2回実施（計 210 人）、里山体験会は高倉および藤金市民の森で 166 人、121 人が参加した。）藤小学校の自然体験学習会は第1回を森の説明とハンモック体験、第2回を森の観察と川での魚取り、第3回を流しソーメン体験と3回実施した。7月～8月に市民の森でボランティア体験会を3回実施した。それ以外の活動として、川掃除2回、福祉ベンチ制作2回、障害者の森での活動支援2回、市の環境まつりへの参加等を実施。

【団体概要】

市内にある3か所の市民の森や新設された森の下草刈り、枝打ち、伐採など森の整備活動を実施しています。その森で子ども達が自然に親しみ、楽しめるイベント実施や学校での自然学習活動を支援しています。減少している残された里山・樹林地を次の世代に継続できるよう様々な活動を展開しています。

第32回イオン環境活動助成 活動報告書（上期）

報告対象期間：2023年4月1日～2023年9月30日

こちらに、1ページ目の以外の活動写真を添付し、右側に説明をご記入下さい。



4月24日 太田ヶ谷の森大谷川でのホタル幼虫放虫

今年で3回目となるが、ゲンジ・ヘイケホタルの幼虫400匹を子ども達に放虫してもらった。6月初旬から飛び始めるが、まだ数が少なく、定着しておらず、今後も継続し、自然発生でホタルが乱舞するようにしていきたい。

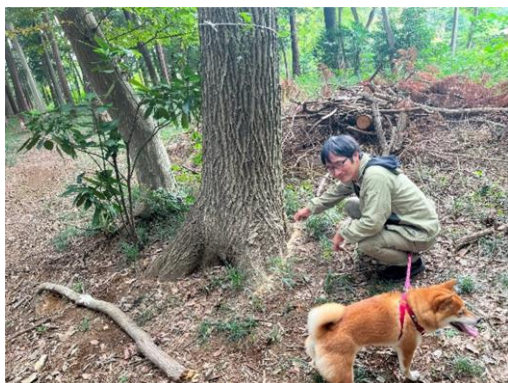


8月14日 農業交流センター流しソーメン
流しソーメンは密となるイベントであるためコロナ禍では実施できなかったが、今年ではできる状況となり、大変好評で当クラブでの実施が2回、流しソーメンセット貸し出しが4回あった。中には文京区のお茶の水女子大付属小学校からの依頼もあった。



8月28日 樹木運搬

市役所と社会福祉協議会から市内に福祉ベンチを設置してほしいの依頼があり、市民の森で伐採してあった樹木を運搬し、クラブの製材機でベンチ資材を制作中である。秋に完成させ市内の福祉施設に設置する予定。



9月30日 ナラ枯れ調査

埼玉県では現在、ナラ枯れが蔓延しており、市民の森での被害状況を樹木医に依頼し、調査した。2か所の市民の森での被害は57本であった。このまま放置すると大枝の落下事故等の恐れがあり、市役所と相談しながら対応策を検討中である。